



機関紙「れんごう中越地協」が800号達成

創刊から22年と10カ月余り休まず発行

機関紙「れんごう中越地協」は1991年1月1日創刊号が発行され、本年10月11日号で発行から800号を数えることとなりました。

スタート時は月1回の発行でしたが、同年8月15日号から月2回となり、翌年3月には定期刊行物・第三種郵便物認可を取得し、公募により現在の名称となりました。同時に現在に至ります。

以来、「継続は力なり」を合言葉に第800号まで一度の休刊もなく定期発行が継続され、中越地協の活動を中心に多くの組合員、関係者へ情報を提供してきました。まさに地域に根差した地協としての役割を担ってきたわけですね。

この間、私達働く仲間の職場環境、労働環境の変化はいうまでもなく、産業・経済・政治の面においても避けて通れないグローバル化の影響で社会は激変しました。まさに官民を問わず、働く者の目をシッカリ捉えたい心構えが必要とされる時代となりました。

連合は、目指すべき社会像として「働くことを軸とする安心社会」を提起し、政策・制度要求や地域・職場における活動を通じ、一歩一歩、安心社会への道を拓いてきました。しかし、「格差社会」がもたらしたダメージは大きく、人々の雇用不安、将来不安を払拭できるまでには至っておりません。2011年3月に発生した大震災の復興もままならない中、来年四月からの消費税増税や生活費の上昇等に活品目の上昇が暮らしのより生活者の暮らしの安心は置き去りにされ、たまたまです。「社会保障と税の一体改革」も片手落ち状態であり、労働者、国民はもって怒っていいのでは無いでしょうか。

連合が目指す「働くことを軸とする安心社会」とは、「働くことに最も重要な価値を置き、誰もが公正な労働条件のもと多様な働き方を通じて社会に参加でき、社会的・経済的に自立することを軸とし、それを相互に支え合える自己実現に挑戦できるセーフティネットが組み込まれた型」の社会です。社会は多くの人達が働き、互いに支え合うことで成り立っています。私達は、会社で働いたり、モノをつくったり、サービスを提供したり、家事やボランティア活動をしたり「働くこと」を通じて人と接し、結びついています。また、「働くこと」によって経済的に自立し、税金や社会保険料を納め、社会を支えています。しかし、この循環がまだ正常でないことに、もともと労働者は怒りを抱くべきです。

さて、これらの思いや願いのベクトルを機関紙「れんごう中越地協」の中にも織り交ぜていきたいと思います。今後、創意工夫・精進を積んで、読まれる機関紙、役立つ機関紙に努めます。1000号単位の節目に、継続してきた歴史的意義を思いながら、更に900号へ向け躍進をします。

最後に連合中越に集まる各産別・単組組合員の団結強化と発展をご祈念申し上げます。第800号発行記念のご挨拶と致します。連合中越幹事会、応援して頂いていた多くの方々とともに、この快挙・偉業を素直に喜び合いたいと存じます。



第800号2013.10.11
 連合中越地域協議会
 長岡市東蔵王2-2-68
 TEL 0258-24-0515
 FAX 0258-24-8930
 発行人 矢島 良彦
 定価 1部10円
 購読料は会費に含む



復興・再生に尽力をつくし、
 「働くことを軸とする安心社会」につなげよう
 運動への「参加」と組織の「拡大」をすすめよう

祝800号

イコウヨ レンゴウニ
 連合新潟 0120-154-052 連合新潟 会長 齋藤 敏明

ZENROSAI NEWS 1513A038

マイカー共済

自動車総合補償共済

掛金見積もり受付中!

中越支局 ☎0258-83-4151
 営業時間：月曜日～金曜日（祝日を除く）
 9時から17時まで

全労済 CO-OP 総合生協
 新潟県では、総合生協が全労済から業務を受託して実施しています。

ご好評につき
 受付期間延長/融資総額増額!

20年固定型 住宅ローン

(固定金利選択型)
 期間・融資総額限定

当初20年間、金利が変更されない安心を手に入れませんか?
 借換えは住宅ローンの今がチャンス!

ご融資金額 最高10,000万円
 ご返済期間 最長35年
 団体信用生命保険付 保険料はろうきん負担
 各種手数料無料 お申込み・繰上げ返済・返済方法変更 etc.

受付期間 2013年12月30日(月)まで
 融資総額 250億円 (250億円に達し次第終了)

新潟県労働金庫長岡支店 TEL 0258 (33) 6318
 新潟県労働金庫長岡北支店 TEL 0258 (34) 5010

祝 800号
連合中越高齢者協議会
 会長 下田 三智夫

祝 800号
長岡地区労働者福祉協議会
 会長 矢島 良彦

祝 800号
連合新潟中越地域協議会
 見附地区支部・小千谷支部
 北魚沼支部・南魚沼支部
 十日町支部

祝 800号
 — 相談解決の「糸口」を一緒に見つけ出す —
ながおかライフサポートセンター
 長岡事務所/見附事務所

*労働・職場相談 *法律・保障相談 *生活・家庭相談
 相談は原則 **無料** です。 携帯電話HP
 電話 (0258) 24-0535

サラリーマン川柳 (ハンガーにグチも一緒にかけておく) (病院の待合室で同窓会) (お世話様 言った私が世話してる) (「ふ」と押せば「不倫」に変換 誤解され)

2013 にいがたワーク・ライフフォーラム in 長岡
～連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会の実現に向けて～

記念講演会

夜回り先生
Osamu Mizutani

参加無料
事前になり次第
要予約

水谷修氏

未来のために
今、何ができるか

長岡市立劇場
2013年
10月19日(土)
AM9:00一般開場 AM10:00講演開始

主催 2013 にいがたワーク・ライフフォーラム実行委員会
後援 新潟県、長岡市、長岡市教育委員会、一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会、特定非営利活動法人 新潟NPO協会

申込み方法 下記のいずれかの方法にてお申込みください。事前に整理券をお受けします。

1 FAXにて
下記申込用紙に必要事項をご記入の上、下記迄先着順で
お申込みください。
※申込用紙はインターネットからもダウンロードいただけます。
<http://www.zaidan-hukushi.or.jp>

2 お近くのいづみん本店窓口にて
下記申込用紙に必要事項をご記入の上、
お近くのいづみん窓口にお持ちください。

3 メールにて
下記メールアドレスまで宛名「夜回り先生 記念講演会
参加申込み」、本文「夜回り先生」「お名前」「電話番号」等
ご記入の上、メールを送ってください。
info@zaidan-hukushi.or.jp

夜回り先生 水谷修氏 記念講演会 参加申込書

お申込み先 FAX025-288-5274

お問い合わせ 実行委員会事務局 tel.025-288-5273

夏の暑さも和らぎ、昼間のセミの鳴き声から、夜のコオロギやスズムシの音が聞こえる秋となった▼秋は、さまざまな言葉を冠される季節であるが、みなさんは秋といえど何を思い浮かべるだろうか？例え、食欲の秋、収穫の秋、スポーツの秋、読書や芸術など文化の秋など、挙げていけばキリがないようにも思う。ちなみに、私の場合は収穫の秋を過ごしている。私の実家が農家ということもあり、稲刈り、作業の間に栗拾いなどしている▼農作業をしていると、ふと、食の安全について考える事がある。スーパーなどで野菜を買い物をする時、国内産を選んで購入してしまう。これは私の私見だが、国内産だどのような生産

副議長
小塚 宏彦

東蔵王2
《No.125》

PがT
加加盟後、農産物の関税が撤廃となつた場合、国外産の農産物は割安となる。安価な国外産の農産物を目の前にしても、それでも国内産の物にこだわっていきたく、私は考えている。

していか
るのか
の大体
像が
くので
安心し
て購入
できる
から
である
▼日本
がT
P



新潟県
労使間の問題でお悩みではありませんか?
新潟県労働委員会の委員による

労働トラブル相談会

労働者・事業主の皆様からのご相談をお待ちしています。

日時と会場
10月6日(日) 13:30~16:00 上越市教育プラザ研修棟2階 中会議室 上越市大字下門前593
10月20日(日) 13:30~16:00 新潟県長岡地域振興局1階 県民相談室A 長岡市西鹿町173-2
10月27日(日) 13:30~16:00 新潟県庁16階 新潟県労働委員会 新潟市中央区新光町4-1

お申込み 事前にお問い合わせください。予約時間をお知らせします。(当日、会場での申込みも可能ですが、お受けできないことがあります。)

相談時間 1人あたり約30分

相談員 労使関係に豊富な知識、経験がある公益委員(弁護士等)・労働者委員(労働組合役員等)・使用者委員(会社経営者等)

内容 解雇、賃金未払い、退職金、パワハラなどの労使間のトラブル(採用に関するものは除く)

その他 相談料無料・秘密厳守

お申込み・お問い合わせ
新潟県労働委員会事務局(県庁16階) ☎025-280-5546(土・日・祝日を除く)

労働委員会では、労使間のトラブル解決をお手伝いするため「あつせん」を行っています。お気軽にお問い合わせください。

新潟県
～働きやすい、働きがいのある新潟県を目指して～

新潟県ワーク・ライフ・バランス推進セミナー

ワーク・ライフ・バランスを実現するには、生産性を高め、メリハリのある効率的な働き方が必要です。また、仕事中心のライフスタイルの否定ではなく、多様な価値観やライフスタイルを受容できる職場とすることも重要です。ワーク・ライフ・バランスに取り組むことは、従業員がやりがいを持って働き続けられる職場環境づくりにつながることも、企業経営にとっても、利益を生み出す有効な手段になると考えられています。

このセミナーでは、NPO法人代表理事として病児保育に取り組みつつ、組織の働き方変革にも取り組まれている駒崎弘樹さんを迎え、中小企業でのワーク・ライフ・バランス実現について考えます。

日時 平成25年 **10月15日(火)**
13:30~16:00 (13時受付開始)

会場 新潟県自治会館 別館9階
コンベンションホール「ゆきつばき」
新潟市中央区新光町4-1

参加費 **無料**
定員120名(先着順)
申込方法は裏面をご覧ください。

講演 13:30~15:00

「中小企業が働き方変革、ワーク・ライフ・バランスを実現するには?」
【講師】 認定NPO法人フローレンス代表 駒崎 弘樹 氏
1979年生まれ。慶應義塾大学総合政策学部卒業後「地域の力によって病児保育問題を解決し、育児と仕事を両立するのが当然の社会をつくらせよう」と考え、フローレンスをスタート。日本初の「育児型・非施設型」の病児保育サービスとして展開。現在、東京23区を中心とした首都圏にて働く家庭をリポートしている。また2010年から待機児童問題の解決のため、空き住戸を使った「おうち保育園」を展開。政府の待機児童対策政策に採用される。
2010年6月より厚生労働省「イクメンプロジェクト」推進委員に任命(2013年6月任期満了)。2013年4月に内閣府「子ども・子育て会議」委員に就任。同年4月、日本経済新聞社「100年」シリーズ「イクメン」大賞を受賞。
著書に「社会を変える」を仕事にする 社会起業家という生き方(英治出版)、「働き方革命」(ちくま新書)、「社会を変えるお金の使い方」(英治出版)等。
一男一女の父であり、子どもの誕生時にはそれぞれ2か月の育児休暇を取得。

事例発表 15:00~16:00
新潟県内でワーク・ライフ・バランス推進する企業の取組発表

主催：新潟県
後援：新潟労働局、新潟市、(一社)新潟県経営者協会、新潟経済同友会、(一社)新潟県商工会議所連合会、新潟県商工会連合会、新潟県中小企業団体中央会、(一社)新潟県労働基準協会連合会、(公財)にいがた産業労働機構、(公財)新潟県女性財団、NPO法人ワーク・エンゲージメント・ソリューション、新潟日報社、日本経済新聞新潟支局、NHK新潟放送局